

# 安川電機 (6506)

## 2013年度第2四半期決算説明会

(対象期間:2013年3月21日～2013年9月20日)

代表取締役会長兼社長 津田 純嗣

本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。

実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

# 目次

---

## 1. 2013年度上期実績

- ・ 2013年度上期実績(概要/セグメント別)
- ・ 事業セグメント別売上高構成比(12年度上期 ⇒13年度上期)
- ・ 仕向先別売上高/売上高構成比(12年度上期 ⇒13年度上期)
- ・ 営業利益増減要因分析(12年度上期⇒13年度上期)

## 2. 2013年度下期および通期見通し

- ・ 2013年度下期の事業環境見通し(13年度上期⇒13年度下期)
- ・ 2013年度通期見通し
- ・ 営業利益増減要因分析(12年度 ⇒13年度今回計画)
- ・ 2013年度における取り組み

## 3. 参考資料

- ・ 設備投資、研究開発費、為替状況(2011年度～2013年度計画)
- ・ 連結売上高・営業利益推移(2003年度～2015年度計画)
- ・ 主要な財務指標
- ・ 四半期連結売上高推移
- ・ アジア地域における取り組み
- ・ 主要生産拠点

# セグメント別事業概要

## モーションコントロール:(M)

### 【主要製品】

- ・ACサーボモータ、コントローラ
- ・リニアサーボ
- ・インバータ
- ・パワーコンディショナ
- ・EV用モータドライブシステム など



ACサーボ



汎用インバータ



太陽光発電用  
パワーコンディショナ



EV用モータドライブ  
システム

## ロボット:(R)

### 【主要製品】

- ・産業用ロボット
  - アーク・スポット溶接・塗装ロボット
  - FPD搬送ロボット、新世代ロボット、ハンドリングロボット
- ・半導体製造装置用ロボット
- ・バイオ・メディカル分野向けロボット など



レーザー切断・溶接対応  
高精度軌跡ロボット



分析前処理  
ロボットシステム



パラレルリンクロボット

## システムエンジニアリング:(S)

### 【主要製品】

- ・鉄鋼プラント用電機システム
- ・上下水道用電気システム
- ・大型・小形風力発電機 など



上下水道用電機システム



連続鋳造設備



大形風力発電用  
発電機とコンバータ

## その他

### 【主要製品】

- ・情報関連事業
- ・物流サービス など



ハイパワーレーザー対応スキャナヘッド



ワイヤレスM2Mサービス  
(通信アダプタ)

---

# 1. 2013年度上期実績

## 2013年度上期実績(概要)

- ・ 好調な(M)が牽引し、上期目標を達成
- ・ 円安を背景に、前年同期比で大幅な増収増益

	<u>13年度上期 実績</u>	13年度上期 前回計画	前回 予想比	12年度上期	<u>前年同期比</u>	
					<u>増減額</u>	<u>増減率</u>
売上高	<u>1,772億円</u>	1,760億円	+12億円	1,505億円	<u>+267億円</u>	<u>+17.7%</u>
営業利益	<u>126億円</u>	125億円	+1億円	61億円	<u>+65億円</u>	<u>+105.8%</u>
経常利益	<u>134億円</u>	130億円	+4億円	64億円	<u>+71億円</u>	<u>+111.0%</u>
当期純利益	<u>73億円</u>	65億円	+8億円	35億円	<u>+38億円</u>	<u>+107.4%</u>

注: 1. 表内「13年度上期前回計画」は、2013年7月18日1Q決算発表時点の計画数値  
 2. 表記:(M)=モーションコントロール

# 2013年度上期実績(セグメント別)

## 太陽光向けパワコンを中心に、(M)が大幅伸長

(単位:億円、%)

	13/上期		13/上期		前回 予想比	12/上期		前年同期比	
	実績	利益率	前回予想	利益率		実績	利益率	増減額	増減率
売上高	1,772	-	1,760	-	+12	1,505	-	+267	+17.7%
(M) モーションコントロール	823	-	833	-	▲10	630	-	+192	+30.5%
(R) ロボット	586	-	585	-	+1	544	-	+43	+7.9%
(S) システムエンジニアリング	162	-	159	-	+3	175	-	▲13	▲7.2%
その他	200	-	183	-	+17	156	-	+44	+28.3%
営業利益	126	7.1%	125	7.1%	+1	61	4.1%	+65	+105.8%
(M) モーションコントロール	85	10.4%	86	10.3%	+0	15	2.5%	+70	+451.2%
(R) ロボット	48	8.2%	49	8.4%	▲1	39	7.3%	+9	+22.3%
(S) システムエンジニアリング	▲4	▲2.6%	▲4	▲2.8%	+0	4	2.7%	▲9	-
その他	3	1.6%	1	0.8%	+2	3	1.7%	+1	+19.4%
全社・消去	▲6	-	▲7	-	+1	▲0	-	▲5	-
経常利益	134	7.6%	130	7.4%	+4	64	4.2%	+71	+111.0%
当期純利益	73	4.1%	65	3.7%	+8	35	2.3%	+38	+107.4%

- (注) 1. セグメント数値については2013年7月18日発表のセグメント変更後のベースで記載  
2. 表内「13/上期前回予想」は、2013年7月18日1Q決算発表時点の計画数値

## 2013年度上期業績(セグメント別)

---

(M):

- ・ACサーボはスマートフォン関連需要が牽引
- ・インバータは、太陽光パワコンの売上が増加
- ・前年同期比で大幅な増収増益

(R):

- ・国内外とも自動車向けが牽引し、増収増益

(S):

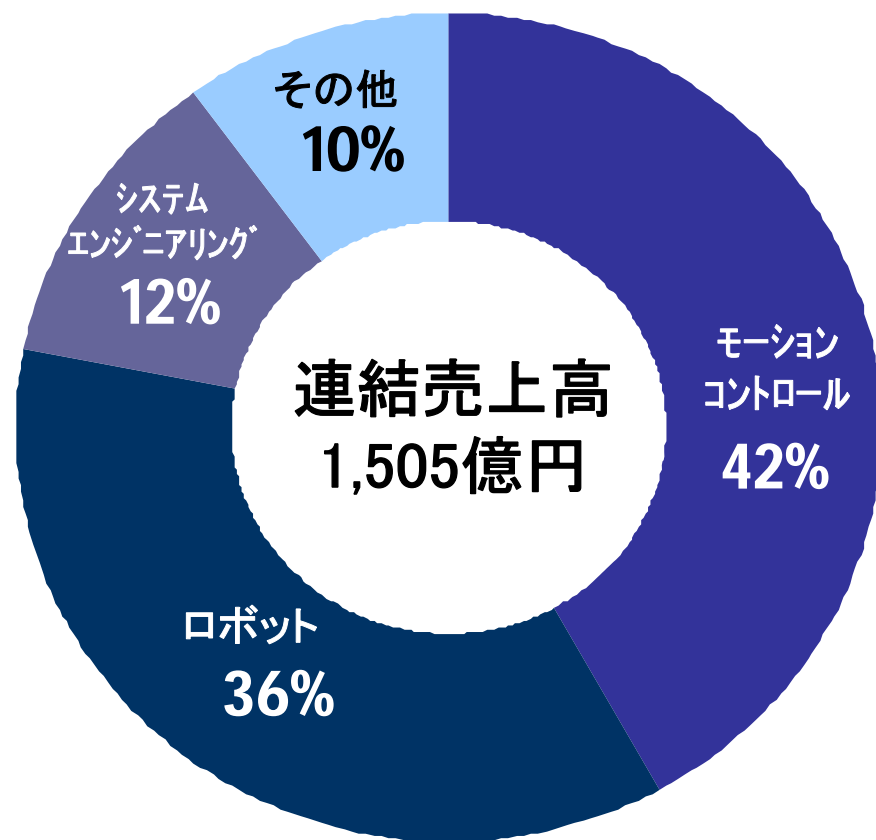
- ・鉄鋼プラント向けは端境期
- ・水処理関連は回復傾向も、減収減益

(注) 表記(M)=モーションコントロール、(R)=ロボット、(S)=システムエンジニアリング

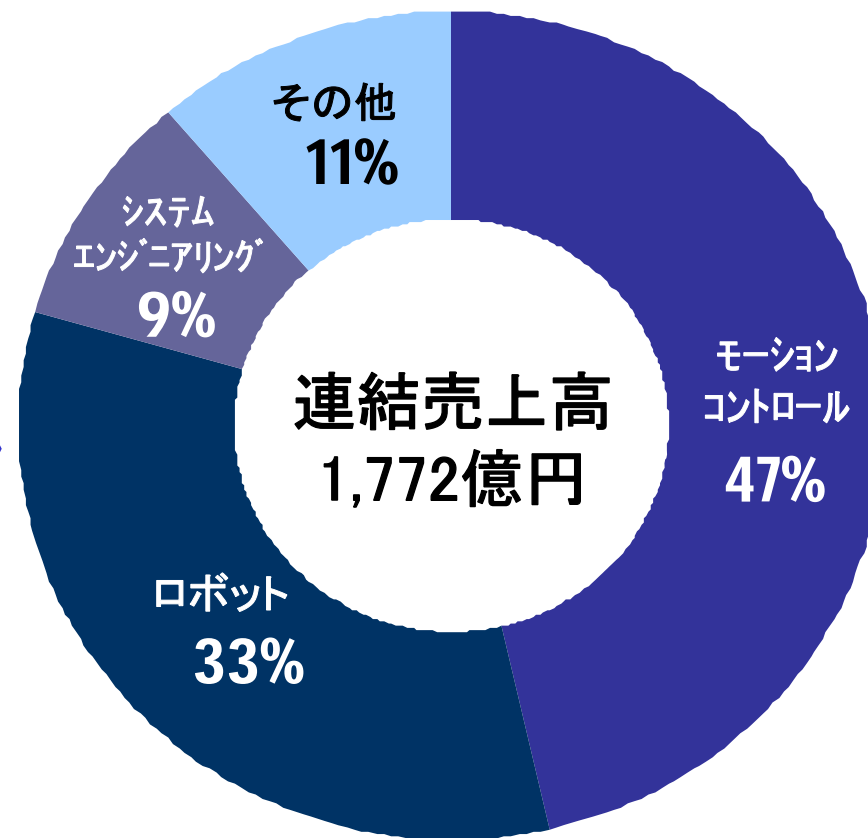
# 事業セグメント別売上高構成比

## ・(M)の構成比が大幅に伸張

12年度上期



13年度上期



(注) セグメント数値については2013年7月18日発表のセグメント変更後のベースで記載



# 仕向先別売上高

## ・円安を背景に、海外売上高が前年同期比で大幅に増加

(単位: 億円、%)

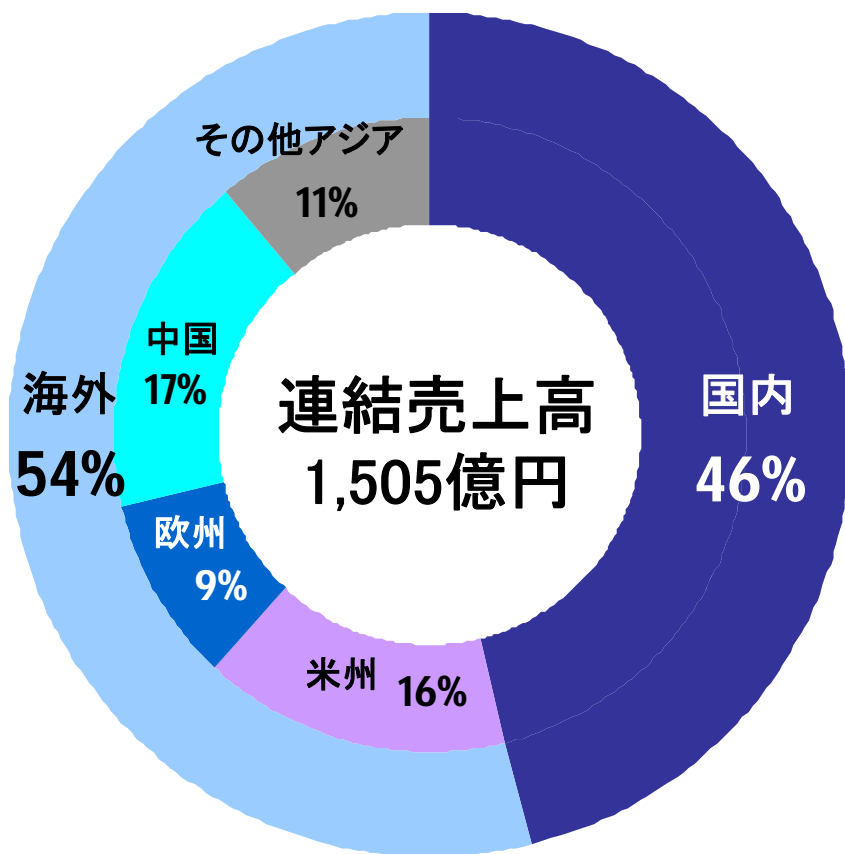
	13年度 上期	12年度 上期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,772	1,505	+267	+17.7%
国内	720	688	+32	+4.6%
海外	1,052	817	+235	+28.7%
米州	290	239	+51	+21.5%
欧州	203	142	+61	+42.9%
中国	337	263	+74	+28.0%
その他アジア	203	159	+45	+28.2%

(注) 内訳には「その他地域(南アフリカ、オーストラリア等)」の記載は割愛しています。

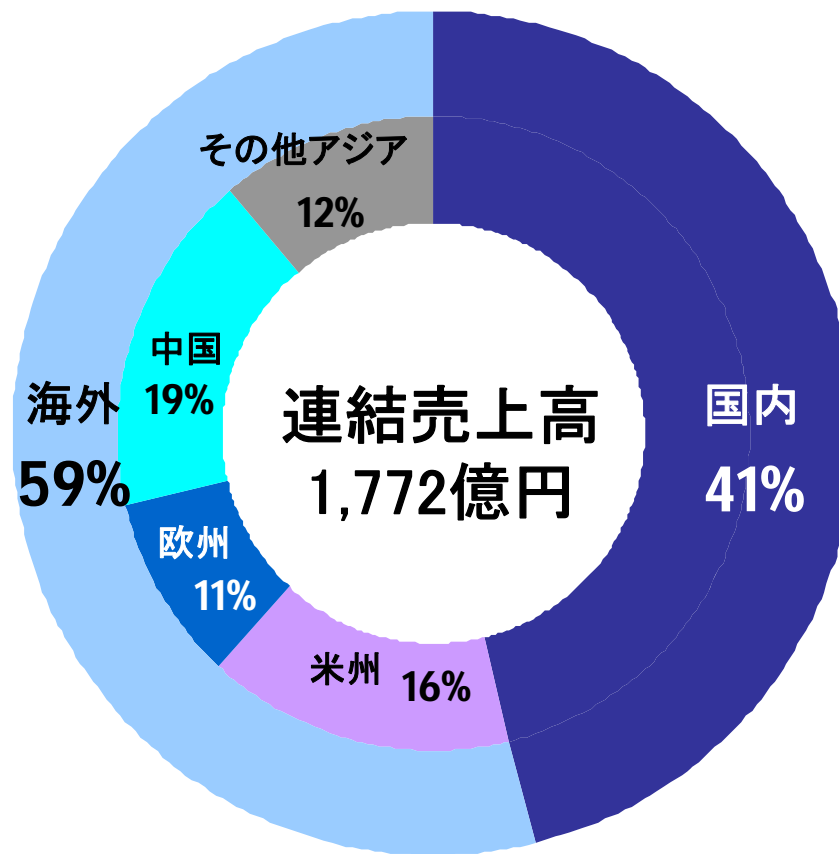
# 仕向先別売上高構成比

- 中国・欧州を中心に、海外売上高比率が伸張

## 12年度上期

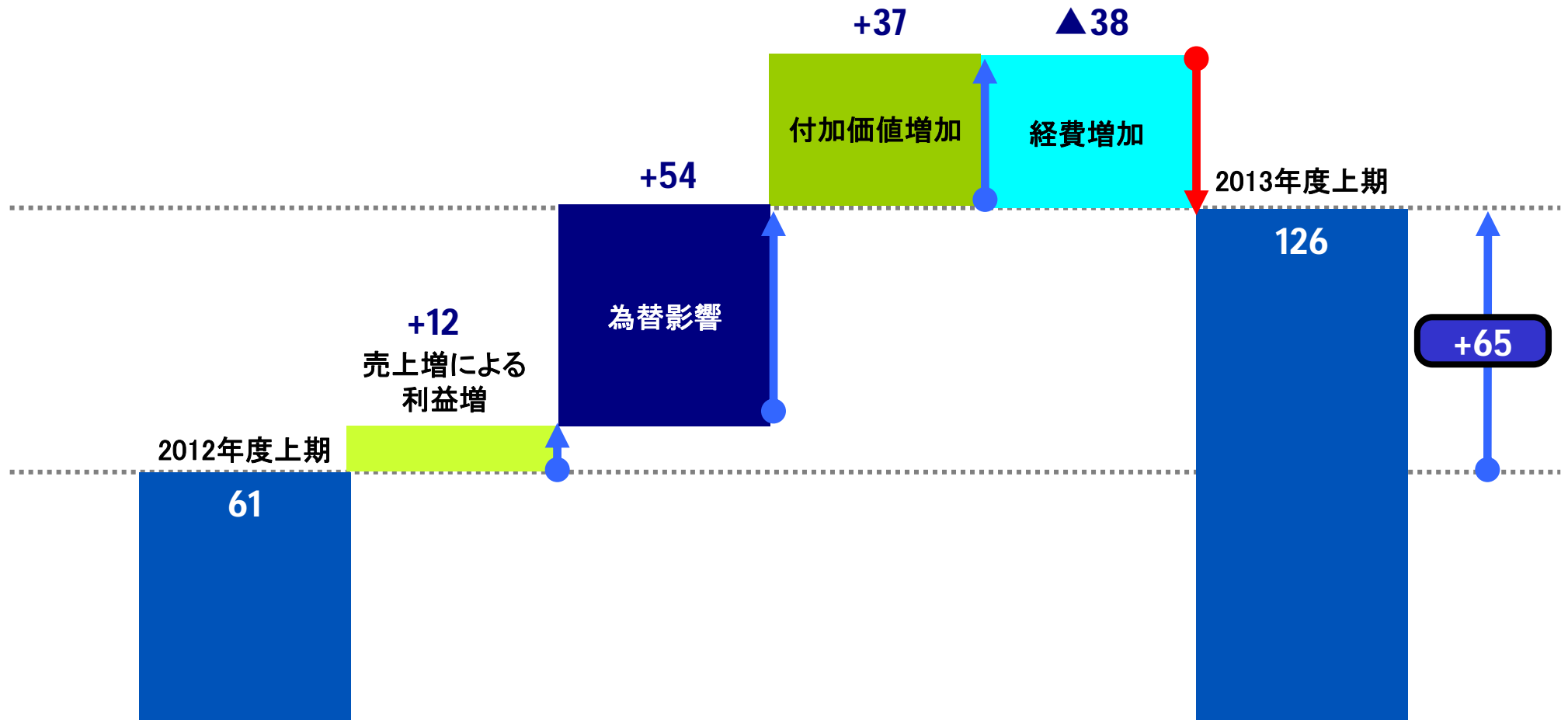


## 13年度上期



# 営業利益増減要因分析(12年度上期⇒13年度上期)

(単位:億円)



---

## 2. 2013年度下期および通期見通し

# 2013年度通期見通し(概要)

## ・円安を背景に、通期計画を上方修正

	13／通期	13／通期	前回計画比 増減額	12／通期	前年度比	
	今回計画	前回計画		増減額	増減額	増減率
売上高	3,600億円	3,500億円	+100億円	3,104億円	+496億円	+16.0%
営業利益	255億円	240億円	+15億円	131億円	+124億円	+95.1%
経常利益	260億円	240億円	+20億円	141億円	+119億円	+85.0%
当期純利益	155億円	130億円	+25億円	68億円	+87億円	+127.9%

(注)表内「13/通期前回計画」は、2013年4月17日本決算発表時点の計画数値

## 2013年度通期見通し(セグメント別)

- 太陽光発電向けパワコンを中心に(M)が牽引、大幅増収増益
- 円安傾向に加え、海外生産・調達拡大を中心に質を改善

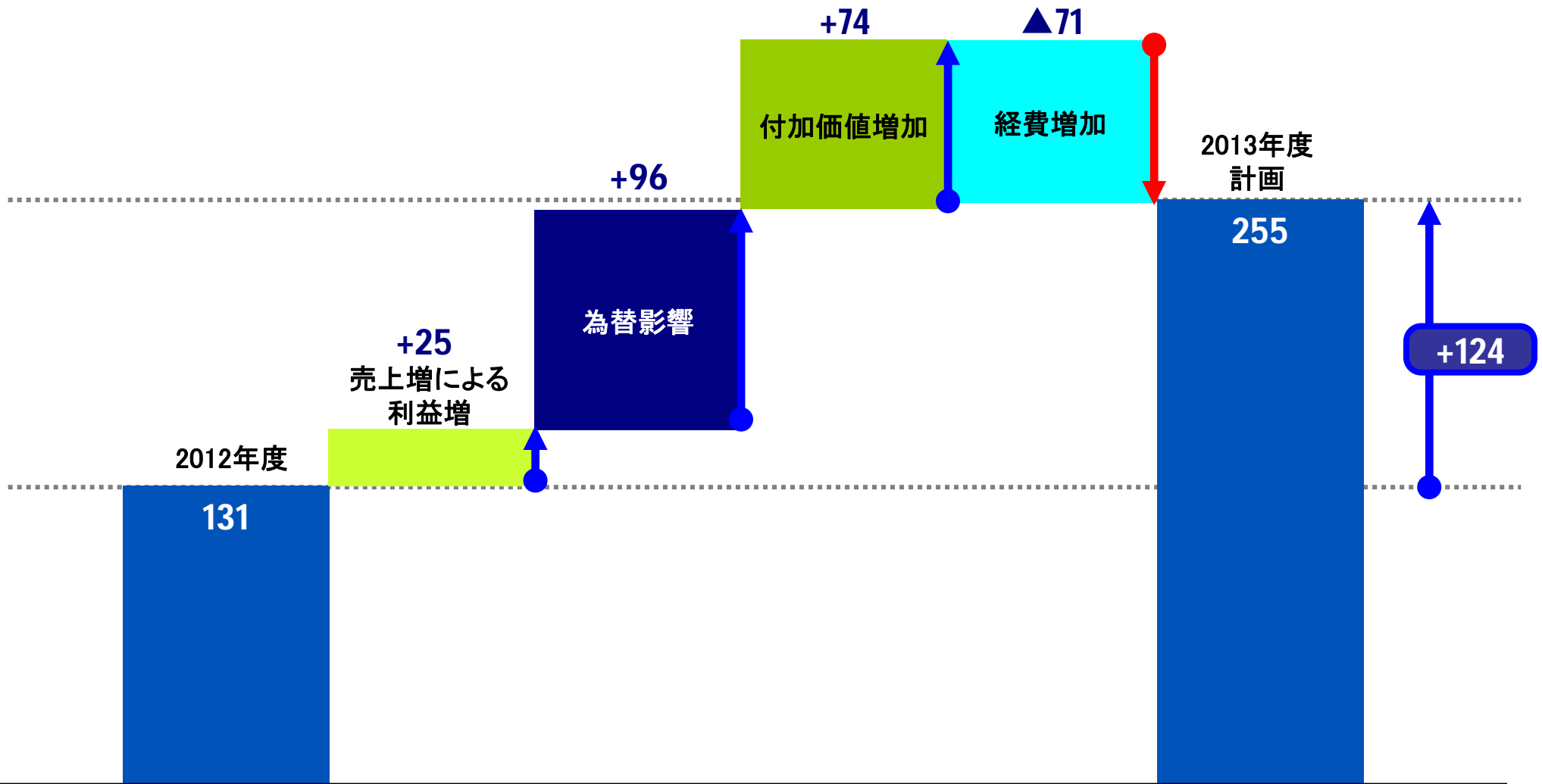
(単位:億円、%)

	13/通期		13/通期		前回予想比 (増減額)	12/通期		前年度比	
	今回計画	利益率	前回計画	利益率		利益率	増減額	増減率	
売上高	3,600	-	3,500	-	+100	3,104	-	+496	+16.0%
(M) モーションコントロール	1,615	-	1,549	-	+66	1,289	-	+326	+25.3%
(R) ロボット	1,215	-	1,207	-	+8	1,100	-	+115	+10.4%
(S) システムエンジニアリング	355	-	376	-	▲21	395	-	▲40	▲10.2%
その他	415	-	368	-	+47	320	-	+95	+29.8%
営業利益	255	7.1%	240	6.9%	+15	131	4.2%	+124	+95.1%
(M) モーションコントロール	150	9.3%	133	8.6%	+17	26	2.0%	+125	+481.9%
(R) ロボット	105	8.6%	95	7.9%	+10	81	7.4%	+23	+28.4%
(S) システムエンジニアリング	2	0.4%	14	3.8%	▲12	15	3.9%	▲14	▲90.2%
その他	11	2.7%	9	2.4%	+2	9	2.8%	+2	+24.1%
全社・消去	▲13	-	▲11	-	▲2	▲1	-	▲12	-
経常利益	260	7.2%	240	6.9%	+20	141	4.5%	+119	+85.0%
当期純利益	155	4.3%	130	3.7%	+25	68	2.2%	+87	+127.9%

- (注) 1. セグメント数値については2013年7月18日発表のセグメント変更後のベースで記載  
2. 表内「13/通期前回計画」は、2013年4月17日本決算発表時点の計画数値

# 営業利益増減要因分析(2012年度⇒2013年度計画)

(単位:億円)



# 2013年度における取り組み①

## 1) コア事業のシェア拡大:好調・成長市場を軸とした拡販

- ・ 中国市場における拡販に注力  
⇒ 中国でのローカル開発力の強化
- ・ 中東・東欧地域への展開  
⇒ トルコに現地法人を設立
- ・ 投資効果最大化による受注拡大  
⇒ VIPA社とのシナジー効果の創出  
⇒ ロボットセンタのグローバル展開の加速



安川トルコ



VIPA社



## 2013年度における取り組み②

### 2) コア事業の利益率向上

- ・コスト構造の改善
  - ⇒瀋陽工場の最大活用
  - ⇒ロボット生産体制の強化  
(国内工場再編・中国生産開始)

- ・主力機種の新製品の投入
  - ⇒ロボットの機種投入

⇒ACサーボ次世代主力製品の開発・早期投入

- ・業務のさらなる効率化
  - ⇒ K30プログラムの推進加速



アーク溶接  
ロボット



スポット溶接  
ロボット



ハンドリング  
ロボット

# 2013年度における取り組み③

## 3) 新規事業への取り組み

- ・太陽光パワコン事業の拡大  
⇒ 家庭用市場へ差別化製品を投入・拡販(13年10月)
- ・大型風力電機品の拡販加速  
⇒ Switch社と業務提携によるシナジー創出
- ・ロボット新分野への積極展開  
⇒ バイオメディカル分野での拡販加速  
⇒ 医療・リハビリ分野における積極展開
  - ・リハビリ装置の開発(川平法、下肢用リハビリ装置)
  - ・アルゴ社と戦略的提携(歩行アシスト装置)



屋外設置型パワーコンディショナ  
(住宅用・産業用)



バイオメディカル分野向け  
分析前処理ロボットシステム

---

# 参考資料

# 設備投資、研究開発費、為替状況

## ◆設備投資の状況（連結）

（億円）

	2011年度	2012年度	2013年度計画
設備投資額	99.1	158.9	220.0
減価償却費	76.1	81.1	95.0

## ◆研究開発投資の状況（連結）

（億円）

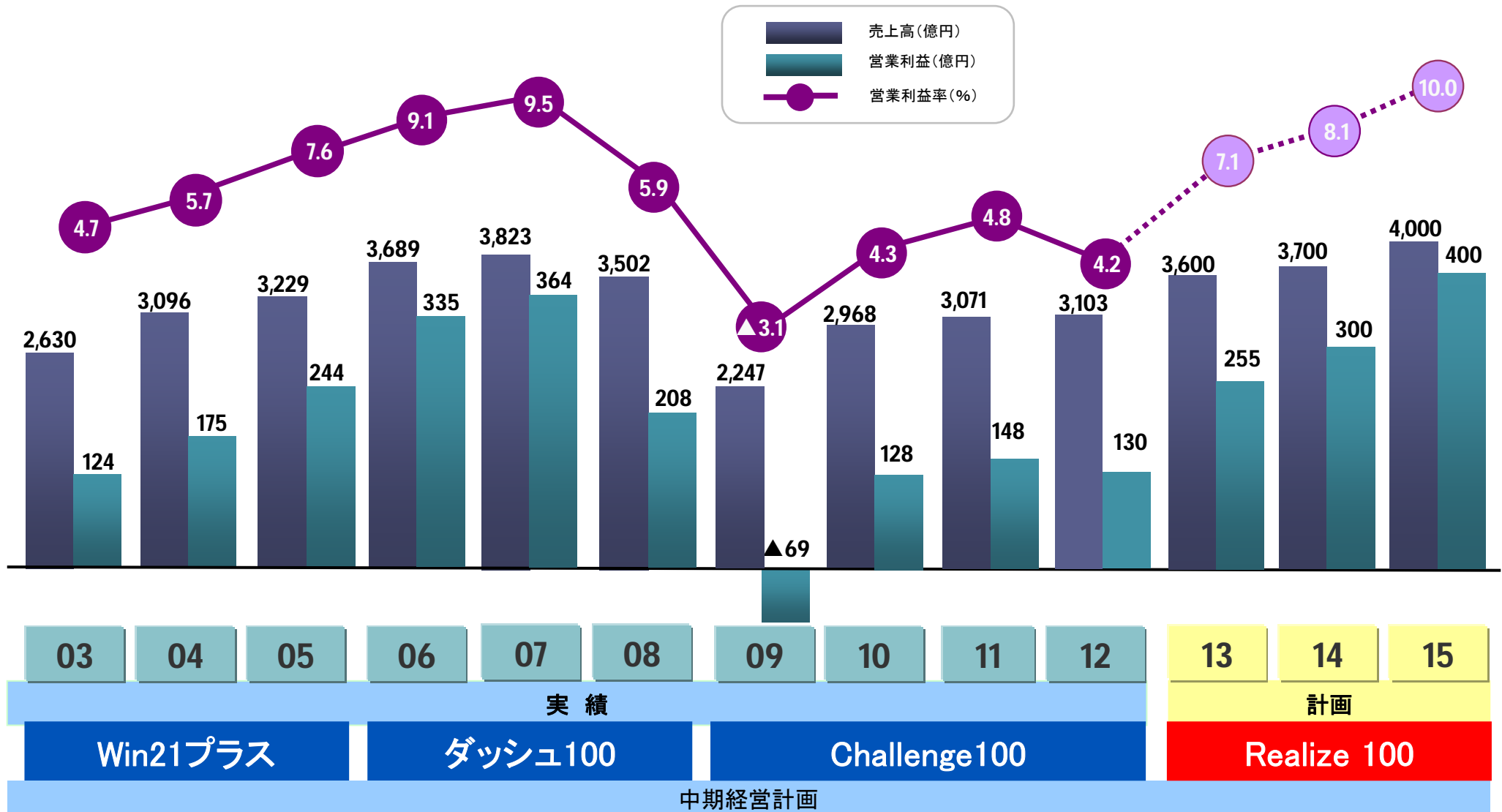
	2011年度	2012年度	2013年度計画
研究開発投資	103.9	107.3	130.0

## ◆為替状況（連結）

	2011年度			2012年度			2013年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度	上期	下期想定	年度想定
対 米ドル	80.6円	77.5円	79.0円	80.1円	83.7円	81.9円	98.2円	98.0円	98.1円
対 ユーロ	115.1円	103.9円	109.5円	102.0円	109.4円	105.7円	128.5円	130.0円	129.3円

(注)期中平均レート

# 連結売上高・営業利益推移(2003年度～)



# 主要な財務指標

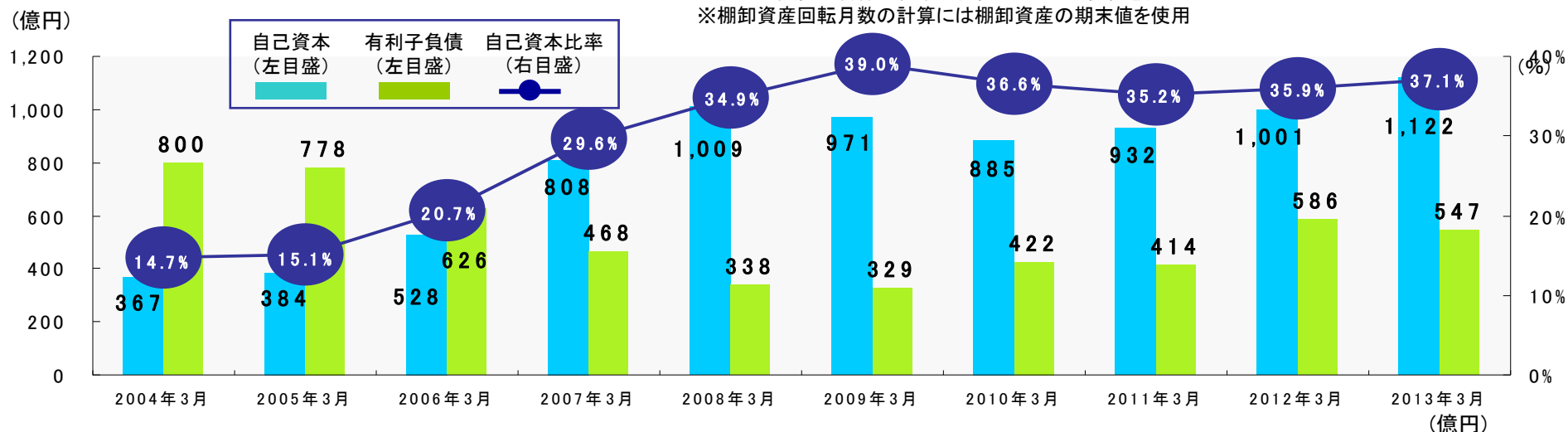
## 2013年3月20日時点

- 自己資本比率 37.1%
- 自己資本 1,122億円
- 有利子負債 547億円
- D/Eレシオ 0.49  
(ネットD/Eレシオ) 0.31
- 棚卸資産 643億円  
(回転月数) (2.5ヶ月)

## 2013年9月20日時点

- 自己資本比率 38.3%
- 自己資本 1,229億円
- 有利子負債 526億円
- D/Eレシオ 0.43  
(ネットD/Eレシオ) 0.20
- 棚卸資産 726億円  
(回転月数) (2.5ヶ月)

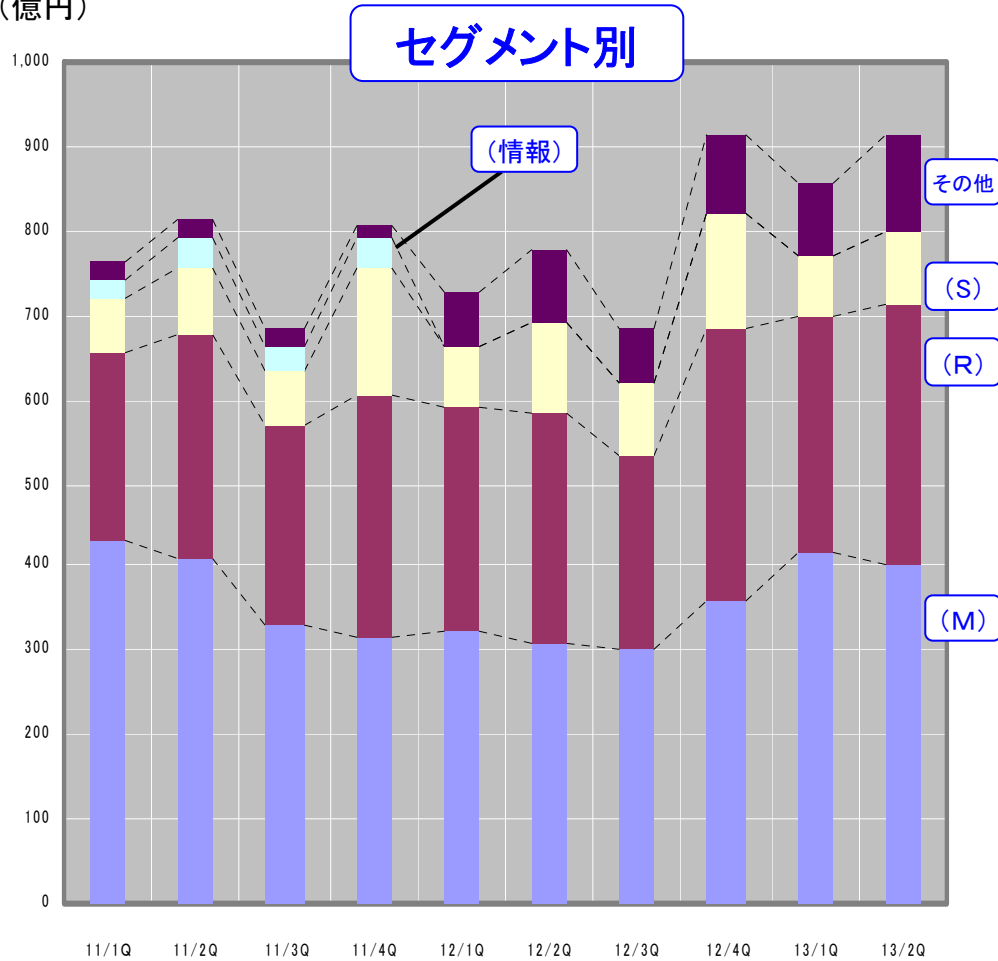
※有利子負債は新株予約権付社債及びリース債務を含む。  
※棚卸資産回転月数の計算には棚卸資産の期末値を使用



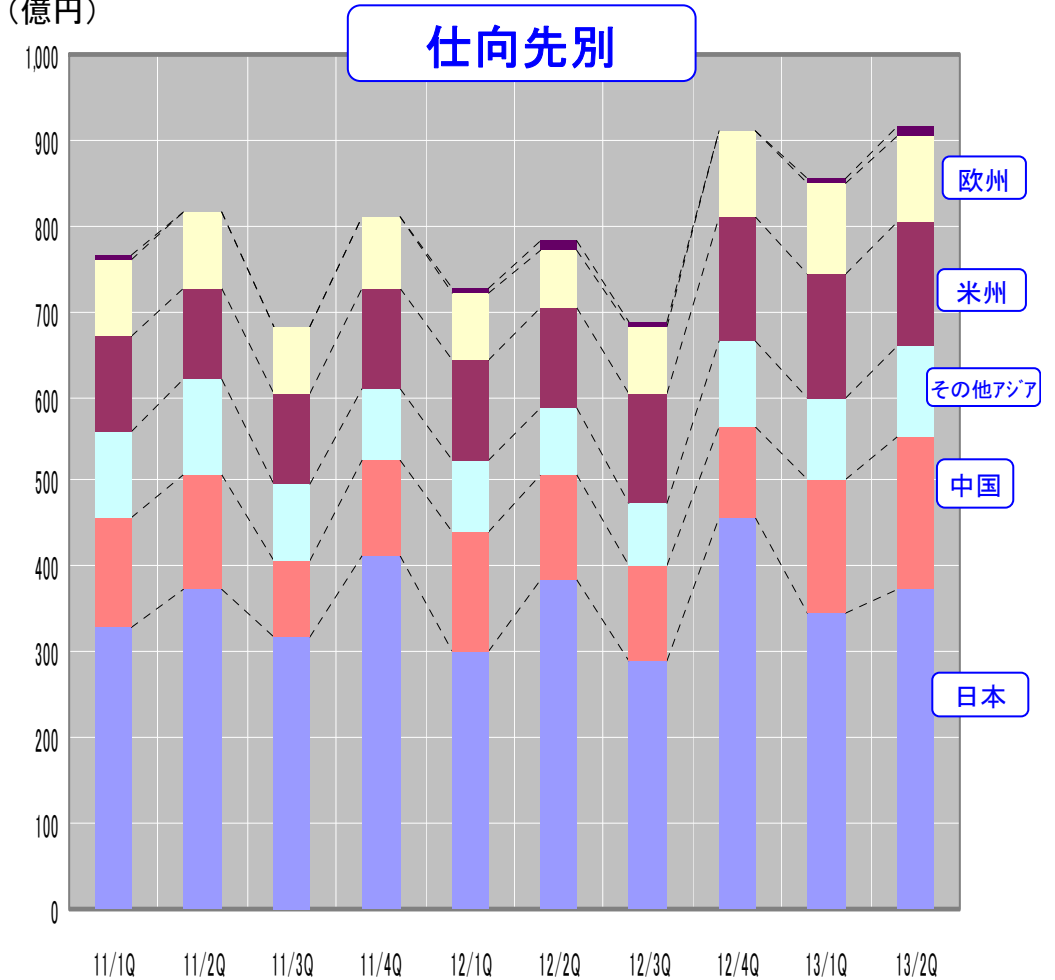
営業CF	185	58	187	150	177	125	40	25	64	246
投資CF	11	▲22	▲97	▲61	▲99	▲107	▲65	▲67	▲119	▲181
フリーCF	196	35	90	89	78	18	▲24	▲43	▲55	66

# 四半期連結売上高推移

(億円)

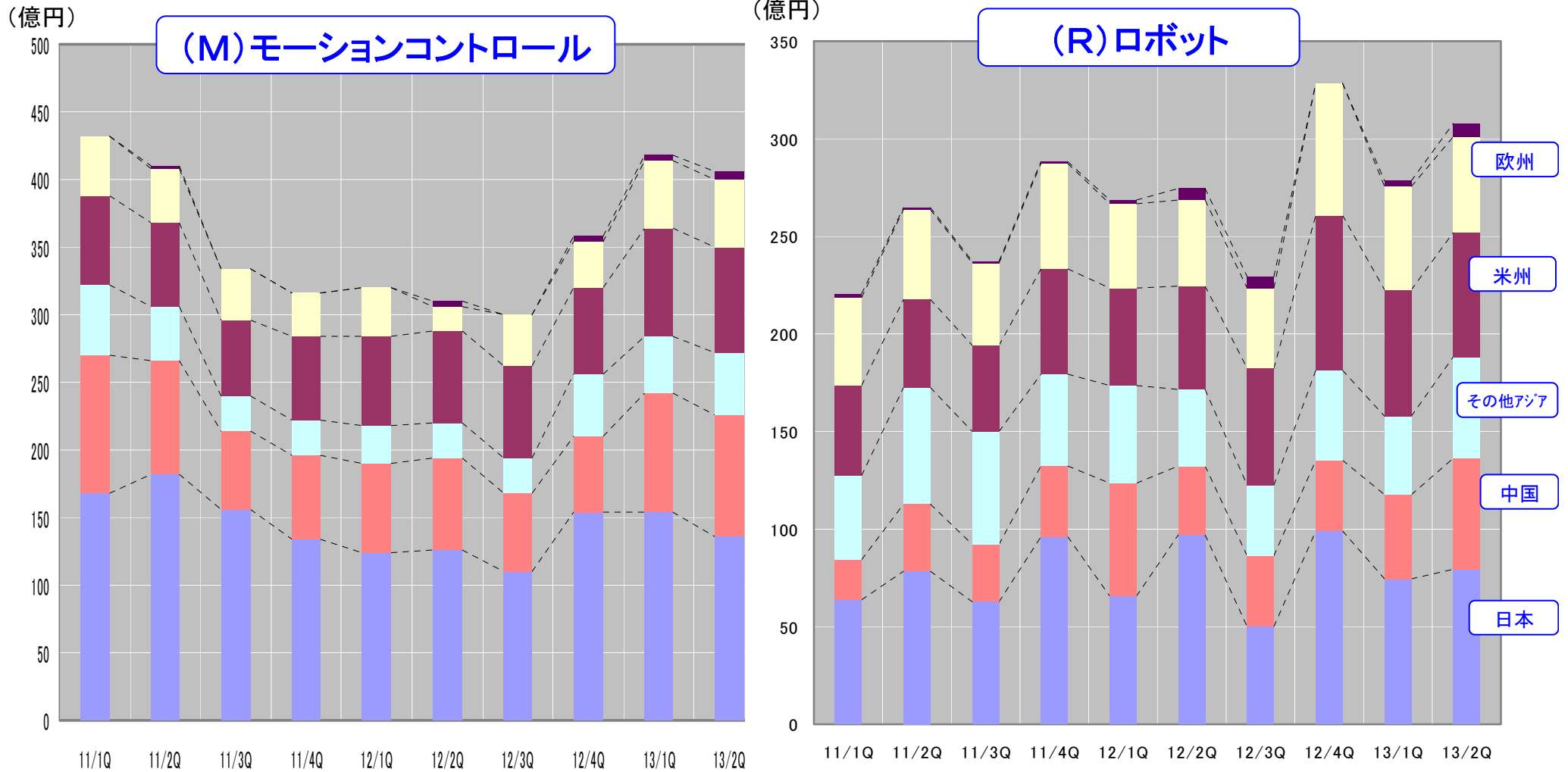


(億円)



- (注) 1. 表記:(M)=モーションコントロール (R)=ロボット (S)=システムエンジニアリング  
 2. 2013年7月18日発表のセグメント変更後のベースで、12年度1Qまで遡り修正

# 四半期連結売上高推移(仕向先別)

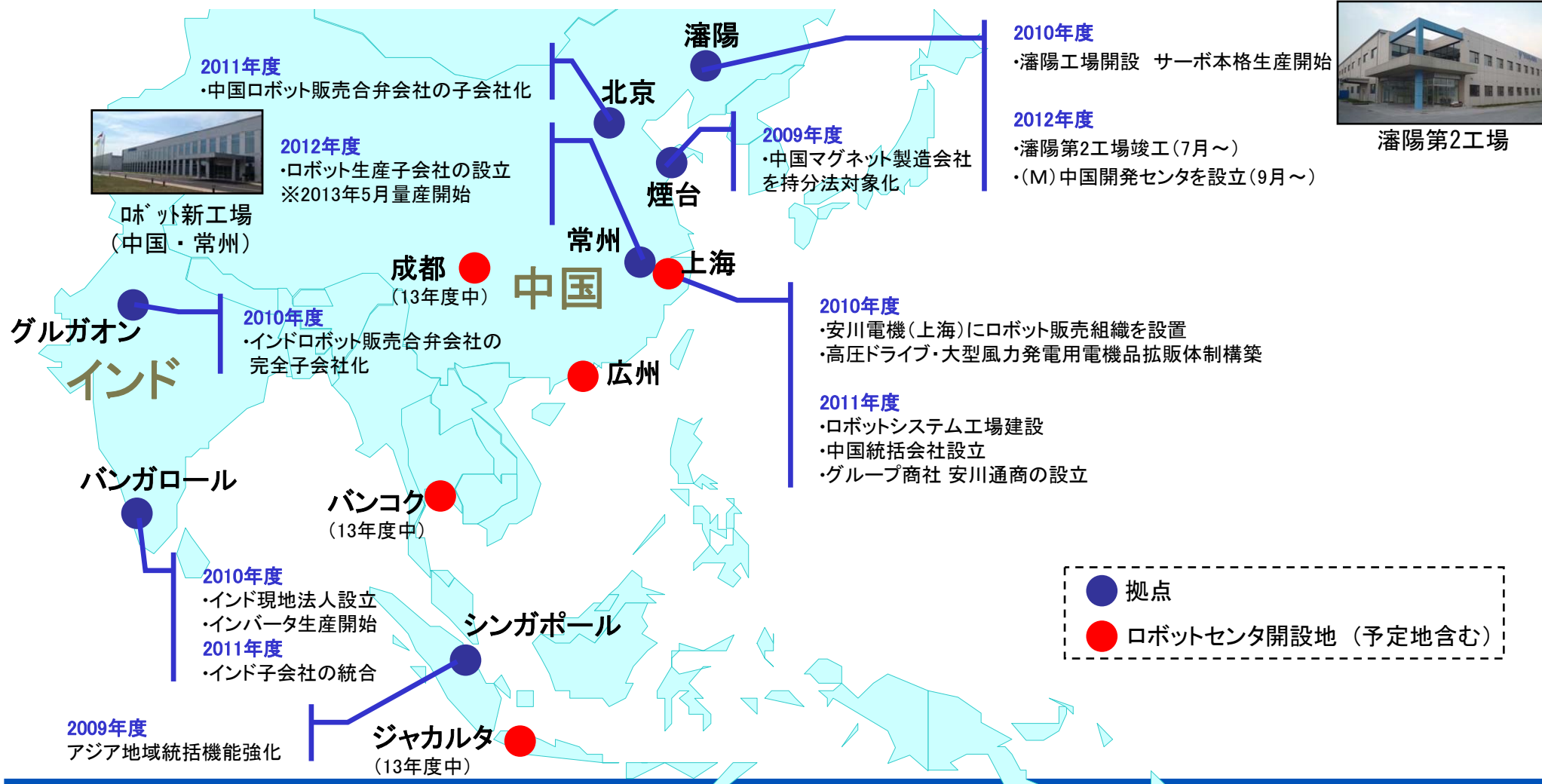


(注) 2013年7月18日発表のセグメント変更後のベースで、12年度1Qまで遡り修正



# 中国・アジア地域における取り組み強化

- ・中国を中心に需要地生産・調達の拡大
- ・中国・アジアでのロボットセンタ新設強化により拡販を加速



# 主要生産拠点 (グローバル事業展開を支えるYASKAWAネットワーク)



# 注記

---

本資料に記載されている業績見通しは将来の予測であり、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。

実際の業績等に影響を与えうる重要な原因には当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。